



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月11日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	30,722	28.3	8,483	13.0	8,828	11.6	5,150	6.8
2022年12月期第1四半期	23,954	△17.8	7,507	△29.0	7,909	△27.7	4,822	△28.8

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 6,306百万円 (4.5%) 2022年12月期第1四半期 6,035百万円 (△24.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	83.78	83.13
2022年12月期第1四半期	76.17	75.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	149,944	132,004	77.0
2022年12月期	152,210	132,834	77.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 115,392百万円 2022年12月期 117,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2023年12月期の配当額は未定であります

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	87,255,916株	2022年12月期	91,199,116株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	27,359,623株	2022年12月期	29,304,473株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	61,479,759株	2022年12月期 1 Q	63,309,345株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・2023年5月11日（木）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書(第1四半期連結累計期間)	5
四半期連結包括利益計算書(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年の日本におけるゲーム市場に関しましては、ハード市場は拡大したもののソフト市場の微減が影響し前年比0.8%減少の2兆27億円*となりました。

一方、2021年の世界におけるゲームコンテンツ市場は、モバイルゲーム市場が引き続き成長したことに加え、PCオンラインゲーム市場も拡大し、前年比6.1%増加の21兆8,927億円*となりました。

また、経済環境については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部に停滞がみられることに加え、不安定な国際情勢により先行きは依然不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社では引き続き「新規価値の創造」に向けグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力するとともに、「既存価値の最大化」を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んでまいりました。

既存ゲームにつきまして、「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）は2023年2月20日にサービス開始から11周年を迎えました。11周年を記念したイベントの実施をはじめ、「パズドラ」は引き続き長期的にお楽しみいただくことを主眼に、新ダンジョン等の追加やゲーム内容の改善、他社有名キャラクターとのコラボレーションなど、継続的にアップデート及びイベントを実施し、MAUは堅調に推移いたしました。Nintendo Switch™向け対戦ニンジャガムアクションゲーム「ニンジャラ」は、コラボレーションイベントやオンライン大会の実施、テレビアニメの放送、幅広いクロスメディア展開に引き続き取り組み、2023年2月14日には世界累計1,000万ダウンロードを突破いたしました。

子会社の事業につきまして、Gravity Co.,Ltd.及びその連結子会社が配信しているRagnarok関連タイトルは継続的なアップデート及びイベントの開催により、引き続き連結業績に寄与しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は30,722百万円（前年同期比28.3%増）、営業利益8,483百万円（前年同期比13.0%増）、経常利益8,828百万円（前年同期比11.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,150百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

※ファミ通ゲーム白書2022

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における資産合計は、149,944百万円（前連結会計年度末比2,266百万円減少）となりました。これは主に2023年2月14日の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行ったことに伴い現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債合計は17,940百万円（前連結会計年度末比1,435百万円減少）となりました。これは主に買掛金が減少したことによるものであります。

純資産合計は132,004百万円（前連結会計年度末比830百万円減少）となりました。これは主に2023年2月14日の取締役会決議に基づき自己株式の取得を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	125,950	122,633
売掛金及び契約資産	12,987	12,410
有価証券	1,258	2,234
商品	13	30
仕掛品	0	2
その他	1,612	2,205
貸倒引当金	△34	△29
流動資産合計	141,788	139,487
固定資産		
有形固定資産合計	992	890
無形固定資産		
ソフトウェア	215	180
その他	205	198
無形固定資産合計	420	379
投資その他の資産		
投資有価証券	138	192
繰延税金資産	5,366	5,322
その他	3,503	3,672
投資その他の資産合計	9,008	9,187
固定資産合計	10,421	10,456
資産合計	152,210	149,944

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,136	6,001
1年内返済予定の長期借入金	181	228
未払法人税等	2,717	2,414
賞与引当金	23	47
その他	7,865	7,794
流動負債合計	17,924	16,486
固定負債		
長期借入金	308	382
退職給付に係る負債	5	5
その他	1,136	1,065
固定負債合計	1,450	1,453
負債合計	19,375	17,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,487	5,487
利益剰余金	195,829	187,135
自己株式	△90,157	△83,177
株主資本合計	116,498	114,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	752	608
その他の包括利益累計額合計	752	608
新株予約権	1,130	1,163
非支配株主持分	14,453	15,447
純資産合計	132,834	132,004
負債純資産合計	152,210	149,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	23,954	30,722
売上原価	9,323	15,602
売上総利益	14,631	15,120
販売費及び一般管理費	7,123	6,637
営業利益	7,507	8,483
営業外収益		
受取利息	66	221
為替差益	327	123
助成金収入	4	4
その他	10	2
営業外収益合計	408	351
営業外費用		
支払利息	3	3
自己株式取得費用	1	1
その他	1	0
営業外費用合計	6	6
経常利益	7,909	8,828
税金等調整前四半期純利益	7,909	8,828
法人税、住民税及び事業税	2,361	2,061
法人税等調整額	250	31
法人税等合計	2,611	2,092
四半期純利益	5,297	6,736
非支配株主に帰属する四半期純利益	475	1,585
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,822	5,150

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	5,297	6,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	737	△430
その他の包括利益合計	737	△429
四半期包括利益	6,035	6,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,146	5,006
非支配株主に係る四半期包括利益	888	1,299

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。